

# 久留米市地球温暖化対策実行計画 改定のポイント (令和6年1月17日)

久留米市

- 1. これまでの経過**
- 2. 計画の基本的事項**
- 3. 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標**
- 4. めざす姿と目標達成に向けた施策**
- 5. 計画の推進・進捗管理**

# 1. これまでの経過

2. 計画の基本的事項

3. 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標

4. めざす姿と目標達成に向けた施策

5. 計画の推進・進捗管理

# 1 これまでの経過

**改定方針の協議**



**素案の協議**



**原案の協議**

※ 本協議会のほかにも、議会の常任委員会や市の庁内会議で協議

# 1 これまでの経過（改定方針）

## （1）改定方針

- ① 国と整合した目標設定
- ② 率先行動としての公共施設の脱炭素化
- ③ 再エネの最大限導入に向けた施策と利用促進
- ④ 成長戦略としての脱炭素化
- ⑤ 気候変動適応策の強化・推進
- ⑥ 2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた市民・事業者・行政の協働推進

# 1 これまでの経過（素案の概要①）

## （2）素案の概要

### ①現計画の骨格を維持

温室効果ガス削減は順調

現目標を達成しているため方向性は変えない

### ②国と整合した目標の引き上げ

温室効果ガス削減：2030年までに50%削減

再エネ導入：2030年までに219MW導入

# 1 これまでの経過（素案の概要②）

## （2）素案の概要

### ③目標達成に向けた取組強化

建物、産業、再エネ、温暖化適応策、協働について特に強化

### ④重点取組の設定

「建築物脱炭素化の推進」と「時代の変化に強い地域産業の振興」の2つをテーマに、脱炭素に効果的な取組について重点的に推進

# 1 これまでの経過（原案の概要）

## （3）原案の概要（素案からの主な変更点）

- ①重点取組のロードマップを追加
- ②国等の動向を踏まえた表現の見直し
- ③取組指標の見直し
- ④2050年の目指すまちの姿について、絵姿を追加
- ⑤子どもへの啓発強化について文言修正



1. これまでの経過

**2. 計画の基本的事項**

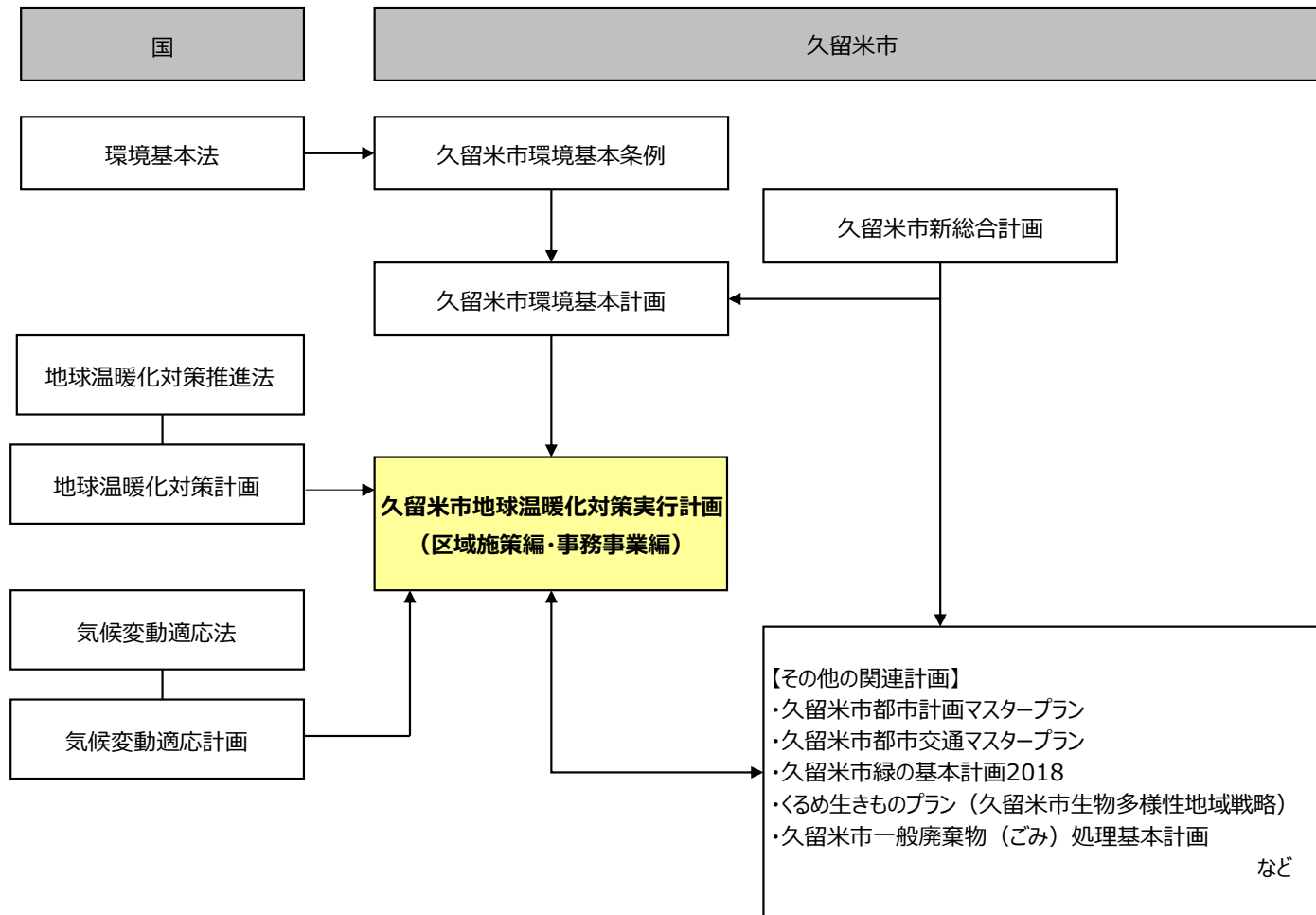
3. 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標

4. めざす姿と目標達成に向けた施策

5. 計画の推進・進捗管理

## 2 計画の基本的事項（計画の位置づけ）

### 計画の位置づけ



## 2 計画の基本的事項（計画期間、対象ガス）

### 計画の期間

計画期間	計画策定から2030年度
基準年度	2013（平成25）年度
目標年度	2030（令和12）年度

### 対象とするガス

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）

メタン（CH<sub>4</sub>）

一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）

1. これまでの経過
2. 計画の基本的事項
- 3. 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標**
4. めざす姿と目標達成に向けた施策
5. 計画の推進・進捗管理

### 3 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標

#### 温室効果ガス削減目標

26%  $\Rightarrow$  50% (2013年度比)

#### 再エネ導入目標

117MW  $\Rightarrow$  219MW  
(2021年度) (2030年度)

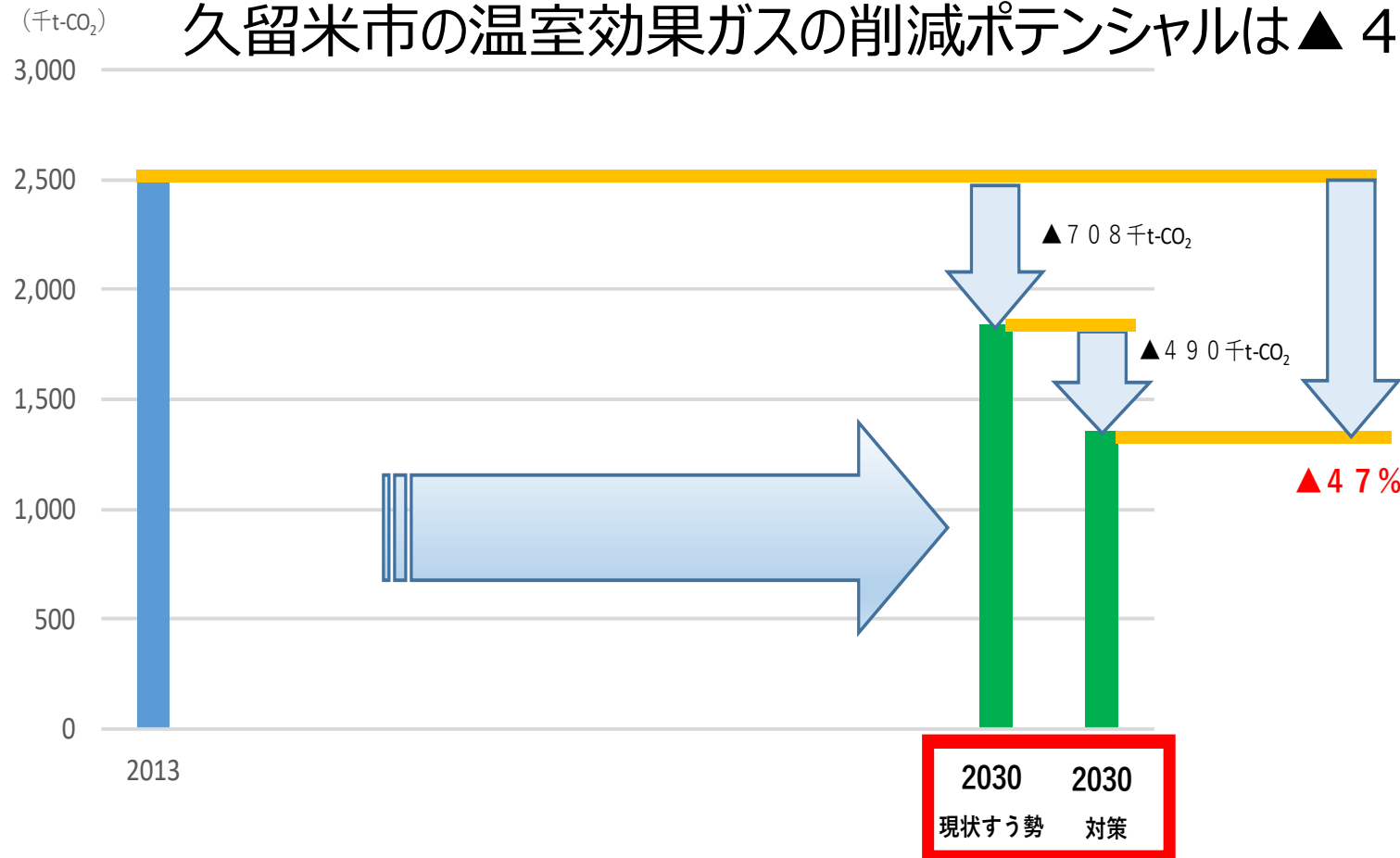
#### 目標達成に向けて

- 対策・施策の拡充
- 地域特性等を踏まえた「重点取組」の追加

### 3 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標（将来推計）

#### (1) 温室効果ガスの将来推計

現状すう勢ケース及び対策ケースを合わせた  
久留米市の温室効果ガスの削減ポテンシャルは▲47%



### 3 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標（再エネポテンシャル）

## (2) 久留米市の再エネポテンシャル

**久留米市の再エネポテンシャル：1,794MW**

国の導入ポテンシャル及び導入目標を踏まえて  
本市の目標を設定する

(参考)

2030年度の国の導入目標：100.9GW

国の導入ポテンシャル：1,944.3GW

### 3 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標（部門別の目標）

#### 削減目標

部門	市の削減目標
産業部門	▲39%
民生家庭部門	▲70%
民生業務部門	▲71%
運輸部門	▲39%
全体	▲50%



1. これまでの経過
2. 計画の基本的事項
3. 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標
- 4. めざす姿と目標達成に向けた施策**
5. 計画の推進・進捗管理

## 4 めざす姿と目標達成に向けた施策

### 温室効果ガス排出量の削減目標の達成

#### めざす姿

##### 家庭・地域の脱炭素化

多くの家庭や地域で再生可能エネルギー等を利用し、エネルギー効率化やごみ減量に努めるなど、脱炭素型の暮らしが実現しているまち

##### 業務・オフィスの脱炭素化

多くの事業所で再生可能エネルギー等を利用し、エネルギー効率化やごみ減量に努めるなど脱炭素型のビジネススタイルが実現しているまち

##### 都市の脱炭素化

緑化された都心部に省エネ型ビルが並び立ち、環境負荷が小さい移動手段で快適に生活できるまち

##### 産業の脱炭素化

地球温暖化の緩和やエネルギー問題の解決に資するビジネスが活発に行われ、活性化しているまち

##### 気候変動への適応

地球温暖化による高温・感染症・災害などに強いまち

##### 脱炭素社会づくりに向けた学習・教育・啓発の推進

地球温暖化対策に主体的に取り組むまち

# 久留米市がめざす まちの姿

2050年の脱炭素社会の構築に向けた取組みを一層推進するため、久留米市地球温暖化対策実行計画の一部を改定します。

【目標の上方修正】

2030年度温室効果ガス削減目標(2013年度比)

26% → 50%

目標達成に向け、施策を追加・拡充するとともに、地域特性をふまえた「重点取組」を新たに追加します。

重点取組① 建築物脱炭素化の推進

重点取組② 時代の変化に強い地域産業の振興

## 家庭・地域

多くの家庭や地域で再生可能エネルギー等を利用し、エネルギー利用効率化やごみ減量に努めるなど脱炭素型の暮らしが実現しているまち

太陽光発電  
ZEH  
再配線防止  
EV充電設備  
断熱性能が高い家に住んでいます  
充電設備を設置しています  
FASHION  
2R+R  
RECYCLE

- ・ZEH住宅に住んでいます
- ・再生可能エネルギー設備を住宅に設置しています
- ・宅配便を1回で受け取っています
- ・住宅の省エネ改修をしています
- ・次世代自動車を利用しています
- ・日常的にごみ減量を行っています
- ・断熱性能が高い家に住んでいます
- ・充電設備を設置しています
- ・サステナブルファッションを取り入れています
- ・リユース活動を行っています

## 業務・オフィス

多くの事業所で再生可能エネルギー等を利用し、エネルギー効率化やごみ減量に努めるなど、脱炭素型のビジネススタイルが実現しているまち

ZEB  
再生可能エネルギー  
テレワーク  
地産地消  
EV充電設備  
断熱性能が高い家に住んでいます  
充電設備を設置しています  
FASHION  
2R+R  
RECYCLE

- ・オフィビルに太陽光発電システム、蓄電池、BEMSが導入されています
- ・多くのビルがZEBになっています
- ・テレワークが進んでいます
- ・多くの市民が自転車通勤しています
- ・地産地消に取り組んでいます
- ・クールビズやウォームビズを行っています

## 産業

地球温暖化の緩和やエネルギー問題の解決に資するビジネスが活発に行われ、活性化しているまち

スマート農業  
ソーラーシェアリング  
森林を適正に管理しています

- ・スマート農業を行っています
- ・ソーラーシェアリングを導入しています
- ・森林を適正に管理しています
- ・多くの企業がGXを達成しています
- ・環境、エネルギー関連企業が多く立地しています
- ・サプライチェーン全体で脱炭素経営を行っています

## 都市

緑化された都心部に省エネビルが並び立ち、環境負荷が小さい移動手段で快適に生活できるまち

緑のカーテン  
自転車移動  
カーシェアリング

- ・公共交通機関や自転車で通勤しています
- ・シェアリングサービスを利用して、自動車や自転車をシェアしています
- ・EVバスが普及しています
- ・緑のカーテンが設置されています
- ・街路樹が整備され、緑化が進んでいます

## 4 - (1) 家庭・地域の脱炭素化

多くの家庭や地域で再生可能エネルギー等を利用し、エネルギー効率化やごみ減量に努めるなど脱炭素型の暮らしが実現しているまち



## 4 - (1) 家庭・地域の脱炭素化（めざす姿、取り組みの姿勢）

### 部門目標：2013年度比▲70%（303千t-CO<sub>2</sub>削減）

#### <めざす姿>

多くの家庭や地域で再生可能エネルギー等を利用し、エネルギー利用効率化やごみ減量に努めるなど、脱炭素型の暮らしが実現しているまち

#### <取り組みの姿勢>

- 高い環境意識を持ち、日常生活のあらゆる場面で、**デコ活**（脱炭素型ライフスタイル）を実践します
- 住まいや家電等の省エネ化と再エネ導入により、脱炭素化と暮らしの質の向上の両立を図ります

## デコ活とは

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を減らすという「DE」、脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（Eco）を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉。環境省が展開する2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しする新しい国民運動のこと。



## 4 - (1) 家庭・地域の脱炭素化（市民の取り組み①）

部門目標：2013年度比▲70%（303千t-CO<sub>2</sub>削減）

<市民の取り組み>

○脱炭素型ライフスタイルへの転換

強化する取組

・サステナブルファッション、再配達抑止、**エコドライブ実践**などによる環境負荷の低減

○省エネ性能が高い設備・機器等の導入

強化する取組

・次世代自動車の購入や利用

## 4 - (1) 家庭・地域の脱炭素化（市民の取り組み②）

部門目標：2013年度比▲70%（303千t-CO<sub>2</sub>削減）

＜市民の取り組み＞

○住宅の省エネ化

強化する取組

- ・LCCM住宅など、ZEH基準の水準以上の住宅の導入
- ・ZEH-Mなどの省エネ性能が高い住宅の選択

○再生可能エネルギー等の導入



# 用語の定義

## ZEHとは

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス。

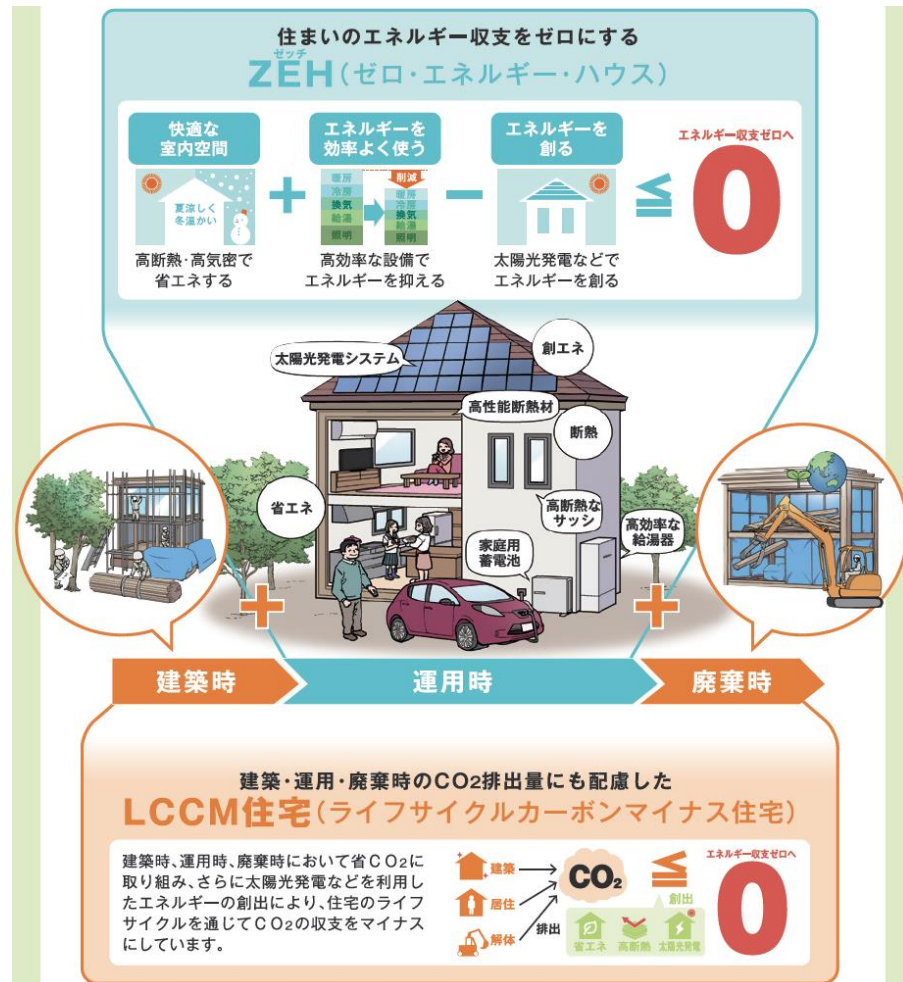
断熱性能を大幅に向上させるとともに、高効率な設備の導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現し、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅。

ZEH-Mは、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・マンションのこと。

## LCCM住宅とは

ライフ・サイクル・カーボン・マイナス住宅。

建設時、運用時、廃棄時において省CO<sub>2</sub>に取り組み、さらに、再生可能エネルギーの創出により、住宅のライフサイクルを通じてのCO<sub>2</sub>の収支をマイナスにする住宅



## 4 - (1) 家庭・地域の脱炭素化（市の取り組み①）

**部門目標：2013年度比▲70%（303千t-CO<sub>2</sub>削減）**

＜市の取り組み＞

○脱炭素型ライフスタイルへの転換促進

**強化する取組**

- ・ゼロカーボンアクション30、家庭エコ診断などの情報やインセンティブの提供
- ・ナッジ等活用による自主的な取り組みの促進

○省エネ性能が高い設備・機器等の導入促進

**強化する取組**

- ・EV充電設備等の利用環境整備支援

## 4 - (1) 家庭・地域の脱炭素化（市の取り組み②）

部門目標：2013年度比▲70%（303千t-CO<sub>2</sub>削減）

<市の取り組み>

○住宅の省エネ化の促進

強化する取組

- ・LCCM住宅やZEH・ZEH-M、住宅のライフサイクル全体の環境負荷などの情報提供
- ・建築物の流通に関わる事業者との連携による住宅の省エネ性能の向上

## 4 - (1) 家庭・地域の脱炭素化（市の取り組み③）

部門目標：2013年度比▲70%（303千t-CO<sub>2</sub>削減）

<市の取り組み>

○再生可能エネルギー等の導入促進

強化する取組

- ・PPAやリースなどの初期費用を抑えた導入手法の情報提供や共同購入の活用による導入促進
- ・「促進区域」の検討

○2 R + R

強化する取組

- ・使い捨てプラスチック、食品ロス削減の促進

## PPAとは

Power Purchase Agreement : 電力販売契約

企業・自治体などが保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体などが施設で使うこと。

設備の所有は第三者（事業者または別の出資者）が持つ形となるので、資産保有をすることなく再エネ利用が実現できる。

## リースとは

事業者が初期費用を一時負担して、太陽光発電設備を設置し、住宅所有者などは電気料金又はリース料を支払うことで、初期費用0円で太陽光発電を設置できる。

## 共同購入とは

自治体などが参加者を募って購買力を高め、太陽光発電設備や自然由来の電気などを経済的に導入・利用すること。

## 4 - (1) 家庭・地域の脱炭素化（取組指標）

部門目標：2013年度比▲70%（303千t-CO<sub>2</sub>削減）

取組指標	現状値（把握年度）	目標値（目標年度）
世帯あたりの温室効果ガス排出量	1.93t-CO <sub>2</sub> /世帯 （2020年度）	0.88t-CO <sub>2</sub> /世帯 （2030年度）
新築住宅の省エネ基準引き上げ （国基準の前倒し）	—	ZEH基準に引上 （2029年度）

## 4 - (2) 業務・オフィスの脱炭素化

多くの事業所で再生可能エネルギー等を利用し、エネルギー効率化やごみ減量に努めるなど、脱炭素型のビジネススタイルが実現しているまち



- ・オフィスビルに太陽光発電システム、蓄電池、BEMSが導入されています
- ・多くのビルがZEBになっています
- ・テレワークが進んでいます
- ・多くの市民が自転車で移動しています

- ・脱炭素経営に取り組んでいます
- ・クールビズやウォームビズを行っています

## 4 - (2) 業務・オフィスの脱炭素化（めざす姿、取り組みの姿勢）

### 部門目標：2013年度比▲71%（378千t-CO<sub>2</sub>削減）

#### <めざす姿>

多くの事業所で再生可能エネルギー等を利用し、エネルギー利用効率化やごみ減量に努めるなど、脱炭素型のビジネススタイルが実現しているまち

#### <取り組みの姿勢>

- 高い環境意識を持ち、持続可能な資源やエネルギーの利用を前提として脱炭素型ビジネススタイルを実践します
- ビルやオフィスの省エネ化と再エネ導入により、エネルギーを自給自足し、健康・快適なビジネス環境づくりを進めます



## 4 - (2) 業務・オフィスの脱炭素化（事業者の取り組み①）

部門目標：2013年度比▲71%（378千t-CO<sub>2</sub>削減）

＜事業者の取り組み＞

○脱炭素型ビジネススタイルへの転換

強化する取組

- ・省エネ診断の実践、テレワーク推進、エコドライブ実践
- ・環境に関する評価・認証取得による省エネの実践

○省エネ性能が高い設備・機器等の導入

強化する取組

- ・次世代自動車の購入や利用

## 4 - (2) 業務・オフィスの脱炭素化（事業者の取り組み②）

部門目標：2013年度比▲71%（378千t-CO<sub>2</sub>削減）

＜事業者の取り組み＞

○建築物の省エネ化

強化する取組

・既存建築物の省エネ・ZEB化改修

・高い断熱性能や長寿命化、ライフサイクル全体における環境負荷を考えたZEB基準以上の水準の実現

○再生可能エネルギー等の導入

## 4 - (2) 業務・オフィスの脱炭素化（市の取り組み①）

部門目標：2013年度比▲71%（378千t-CO<sub>2</sub>削減）

<市の取り組み>

○脱炭素型ビジネススタイルへの転換促進

強化する取組

- ・脱炭素経営の促進
- ・省エネ診断等の情報提供
- ・公用車の次世代自動車切替



## 4 - (2) 業務・オフィスの脱炭素化（市の取り組み②）

部門目標：2013年度比▲71%（378千t-CO<sub>2</sub>削減）

＜市の取り組み＞

○省エネ性能が高い設備・機器等の導入促進

強化する取組

・EV充電設備等の利用環境整備支援

○建築物の省エネ化の促進

強化する取組

・高齢者福祉施設などへのZEBに関する情報提供や支援  
・建築物の流通に関わる事業者との連携による  
建築物の省エネ性能の向上

## 4 - (2) 業務・オフィスの脱炭素化（市の取り組み③）

部門目標：2013年度比▲71%（378千t-CO<sub>2</sub>削減）

<市の取り組み>

○再生可能エネルギー等の導入促進

強化する取組

- ・PPAやリースなどの初期費用を抑えた導入手法の情報提供や共同購入の活用による導入促進
- ・「促進区域」設定の検討

○2R+Rの推進

強化する取組

- ・食品ロスやプラスチック削減への啓発
- ・バイオプラスチック製品率先利用や導入支援

## 4 - (2) 業務・オフィスの脱炭素化（取組指標）

部門目標：2013年度比▲71%（378千t-CO<sub>2</sub>削減）

取組指標	現状値（把握年度）	目標値（目標年度）
事業所床面積あたりの 温室効果ガス排出量	0.128t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> （2020年度）	0.063t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> （2030年度）
新築建築物の省エネ基準引き上げ （国基準の前倒し）	—	ZEB基準に引上 （2029年度）

## 4 - (3) 都市の脱炭素化

緑化された都心部に省エネルギーが並び立ち、環境負荷が小さい移動手段で快適に生活できるまち



自転車移動

- ・公共交通機関や自転車で通勤しています
- ・シェアリングサービスを利用して、自動車や自転車をシェアしています
- ・EVバスが普及しています
- ・緑のカーテンが設置されています
- ・街路樹が整備され、緑化が進んでいます

カーシェアリング



## 4 - (3) 都市の脱炭素化（めざす姿、取り組みの姿勢）

### 部門目標：2013年度比▲39%（224千t-CO<sub>2</sub>削減）

#### <めざす姿>

緑化された都心部に省エネ型ビルが並び立ち、環境負荷が小さい移動手段で快適に生活できるまち

#### <取り組みの姿勢>

- 環境に配慮した移動手段の積極的な利用やエコドライブ等、スマートムーブを実践します
- 公共交通の利便性向上や次世代自動車導入等、環境負荷の少ない移動手段への転換を進めます
- 緑の保全や新たな創出に努めます



## 4 - (3) 都市の脱炭素化（市民・事業者の取り組み）

部門目標：2013年度比▲39%（224千t-CO<sub>2</sub>削減）

＜市民・事業者の取り組み＞

○環境に配慮した移動手段への転換

強化する取組

・環境や地域に配慮したサステナブルツーリズムの実践

○公共交通機関の利便性向上と利用促進

強化する取組

・移動に伴う排出量の「見える化」など、温室効果ガス排出削減につながるサービスの**利用**

○緑化の推進

## 4 - (3) 都市の脱炭素化（市の取り組み）

### 部門目標：2013年度比▲39%（224千t-CO<sub>2</sub>削減）

#### <市の取り組み>

○環境に配慮した移動手段への転換促進

#### 強化する取組

・シェアリングサービスの推進、ゼロカーボンドライブの普及

○公共交通機関の利便性向上と利用促進

#### 強化する取組

・移動に伴う排出量の「見える化」など、温室効果ガス排出削減につながるサービスの利用環境の充実

○環境に配慮した道路交通施策の推進

○環境に配慮した建築物の導入促進

○ネットワーク型のコンパクトな都市づくり

○緑地保全、緑化等の推進



## サステナブルツーリズムとは

訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光（国連世界観光機関（UNWTO））。旅行者、観光関係事業者、受け入れ地域にとって、「環境」「文化」「経済」の観点で、持続可能かつ発展性のある観光を目指すということ。

## シェアリングサービスとは

個人等が保有する活用可能な遊休資産等（資産（空間、モノ、カネなど）や能力（スキル、知識など））を他の個人等も利用可能とする経済活動である「シェアリングエコノミー」という仕組みを活用して脱炭素の取り組みを推進すること。

## 4 - (3) 都市の脱炭素化（取組指標）

部門目標：2013年度比▲39%（224千t-CO<sub>2</sub>削減）

取組指標	現状値 （把握年度）	目標値 （目標年度）
市民一人あたりの運輸に関する 温室効果ガス排出量	1.56t-CO <sub>2</sub> /人 （2020年度）	1.24t-CO <sub>2</sub> /人 （2030年度）
地域公共交通の乗降客数	3,059万人 （2021年度）	4,167万人 （2030年度）

## 4 - (4) 産業の脱炭素化

地球温暖化の緩和やエネルギー問題の解決に資するビジネスが活発に行われ、活性化しているまち

- スマート農業を行っています
- ソーラーシェアリングを導入しています



スマート農業

ソーラーシェアリング



- 森林を適正に管理しています

- 多くの企業がGXを達成しています
- 環境、エネルギー関連企業が多く立地しています
- サプライチェーン全体で脱炭素経営を行っています

## 4 - (4) 産業の脱炭素化（めざす姿、取り組みの姿勢）

**部門目標：2013年度比▲39%（362千t-CO<sub>2</sub>削減）**

〈めざす姿〉

地球温暖化の緩和やエネルギー問題の解決に資するビジネスが活発に行われ、活性化しているまち

〈取り組みの姿勢〉

- サプライチェーン全体を通じた脱炭素経営推進に取り組みます
- GXの達成により、産業の競争力強化を進めます

## 4 - (4) 産業の脱炭素化（産業界の取り組み①）

**部門目標：2013年度比▲39%（362千t-CO<sub>2</sub>削減）**

＜産業界の取り組み＞

○地球温暖化の緩和や適応に資する製品やサービスの開発

**強化する取組** ・GXに取り組み、脱炭素化と競争力向上の両立をめざす

○省エネ性能が高い設備・機器等の導入推進

**強化する取組** ・FEMSなどのエネルギー管理システムの導入

# 用語の定義

## GXとは

グリーン・トランスフォーメーション。

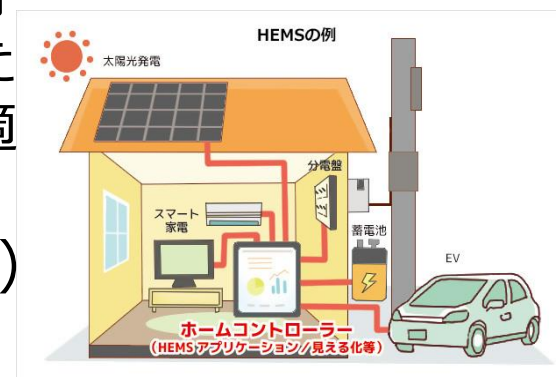
産業革命以来の化石燃料中心の経済・社会、産業構造をグリーンエネルギー中心に移行させ、経済社会システム全体を変革させること。

## FEMSとは

Facility Energy Management System（産業施設エネルギーマネジメントシステム）のこと。

工場内のエネルギー使用量などの情報を「見える化」、これらの情報を基にエネルギー使用量の予測、エネルギー需要量に合わせたエネルギー供給設備の最適化などにより、工場・プラント内で最適なエネルギー管理を行うこと。

家庭用は、HEMS(Home Energy Management System)  
事務所ビルなどは、BEMS(Building Energy Management System)





## 4 - (4) 産業の脱炭素化（産業界の取り組み②）

**部門目標：2013年度比▲39%（362千t-CO<sub>2</sub>削減）**

＜産業界の取り組み＞

○脱炭素経営への転換

**強化する取組** ・企業価値の向上につながる脱炭素経営に取り組む

○再生可能エネルギー等の導入や機器のエネルギー利用効率化

○森林の適正管理・木材利用の推進

○2R+Rの推進

○産業廃棄物の適正処理の推進

## 4 - (4) 産業の脱炭素化（市の取り組み①）

**部門目標：2013年度比▲39%（362千t-CO<sub>2</sub>削減）**

＜市の取り組み＞

○環境・エネルギー産業の振興・企業誘致推進

**強化する取組** ・GX促進のための支援体制構築

○省エネ性能が高い設備・機器等の導入促進

**強化する取組** ・EV充電設備等の利用環境整備支援

○脱炭素経営への転換促進

**強化する取組** ・企業価値の向上につながる脱炭素経営に関する  
情報提供などの支援

## 4 - (4) 産業の脱炭素化（市の取り組み②）

**部門目標：2013年度比▲39%（362千t-CO<sub>2</sub>削減）**

＜市の取り組み＞

○農業における再エネ等の導入や機器のエネルギー利用効率化の促進

**強化する取組**

・スマート農業推進

・営農型太陽光(ソーラーシェアリング)導入等の情報提供

○森林の適正管理・木材利用促進等

○2R+Rの推進

○産業廃棄物の適正処理の促進

## 4 - (4) 産業の脱炭素化（取組指標）

部門目標：2013年度比▲39%（362千t-CO<sub>2</sub>削減）

取組指標	現状値 （把握年度）	目標値 （目標年度）
市内産業の炭素生産性 （付加価値額/エネルギー起源CO <sub>2</sub> ）	186千円/t-CO <sub>2</sub> （2020年度）	216千円/t-CO <sub>2</sub> （2030年度）
脱炭素経営関連認証取得事業者数 （累計取得事業者数）	39件 （2022年度）	100件 （2030年度）

## 4 - (5) 気候変動への適応（めざす姿、取り組みの姿勢）

### <めざす姿>

地球温暖化による高温・感染症・災害などに強いまち

### <取り組みの姿勢>

- 深刻化する自然災害に対し、被害を回避・軽減するため、日ごろからの備えを十分に行います
- 気候変動に関する正しい知識を習得し、必要に応じ、日常生活の見直しを行います

## 4 - (5) 気候変動への適応（市民・事業者の取り組み）

### ＜市民・事業者の取り組み＞

○自然災害への適応

○水資源に関する適応

○健康被害等に関する適応

### 強化する取組

・熱中症警戒アラートのチェックなど  
による熱中症予防行動の実践

○自然生態系に関する適応

○農作物に関する適応



## 4 - (5) 気候変動への適応（市の取り組み）

### <市の取り組み>

#### ○自然災害への適応

##### 強化する取組

- ・雨水貯留施設や雨水流出施設の整備
- ・「田んぼダム」の取組推進
- ・避難所等への太陽光発電・蓄電池の整備

#### ○水資源に関する適応

#### ○健康被害等に関する適応

##### 強化する取組

- ・熱中症警戒アラートやクーリングシェルターなどの普及啓発

#### ○自然生態系に関する適応

#### ○農作物に関する適応

## 4 - (5) 気候変動への適応（取組指標）

取組指標	現状値 (把握年度)	目標値 (目標年度)
大雨等による浸水被害件数 (床上浸水棟数)	947棟 (2023年度速報値)	被害件数減少を 目指す
市内での熱中症搬送件数	181件 (2022年度)	搬送件数減少を 目指す



## 4 - (6) 脱炭素社会づくりに向けた学習・教育・啓発の推進

### <めざす姿>

地球温暖化対策に主体的に取り組むまち

### <取り組みの姿勢>

- 地球温暖化対策について、学びや交流を積極的に実践します
- 取り組みの輪が広がるように、協働・連携を重視した活動を進めます

## 4 - (6) 脱炭素社会づくりに向けた学習・教育・啓発の推進

### <市民・事業者の取り組み>

#### 強化する取組

○地球温暖化対策について自らの取り組みを広く発信・公表

### <市の取り組み>

#### 強化する取組

○ICTを活用した市民・事業者や団体等の交流促進

○学校・地域での環境学習・教育の充実

○地域の脱炭素の取り組みを促進するネットワークの構築や  
市民・事業者等の環境配慮行動を促す仕組みづくり

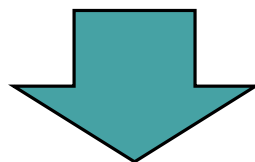
## 4 - (6) 脱炭素社会づくりに向けた学習・教育・啓発の推進

取組指標	現状値 (把握年度)	目標値 (目標年度)
環境まなびのまちづくり事業(※) への参加者数	13,661人 (2021年度)	30,000人 (2030年度)
啓発ページへのアクセス数	113,592回 (2021年度)	200,000回 (2030年度)

(※)市民・事業者の皆さんが環境配慮活動に積極的に取り組むまちづくりを推進するための環境啓発事業の総称。

## 4 - 重点取組

めざす姿の実現に向け、本市の強みを生かし、環境と調和した持続可能な発展にも寄与する、脱炭素に効果的な取り組みについて重点的に推進するものを「重点取組」として設定



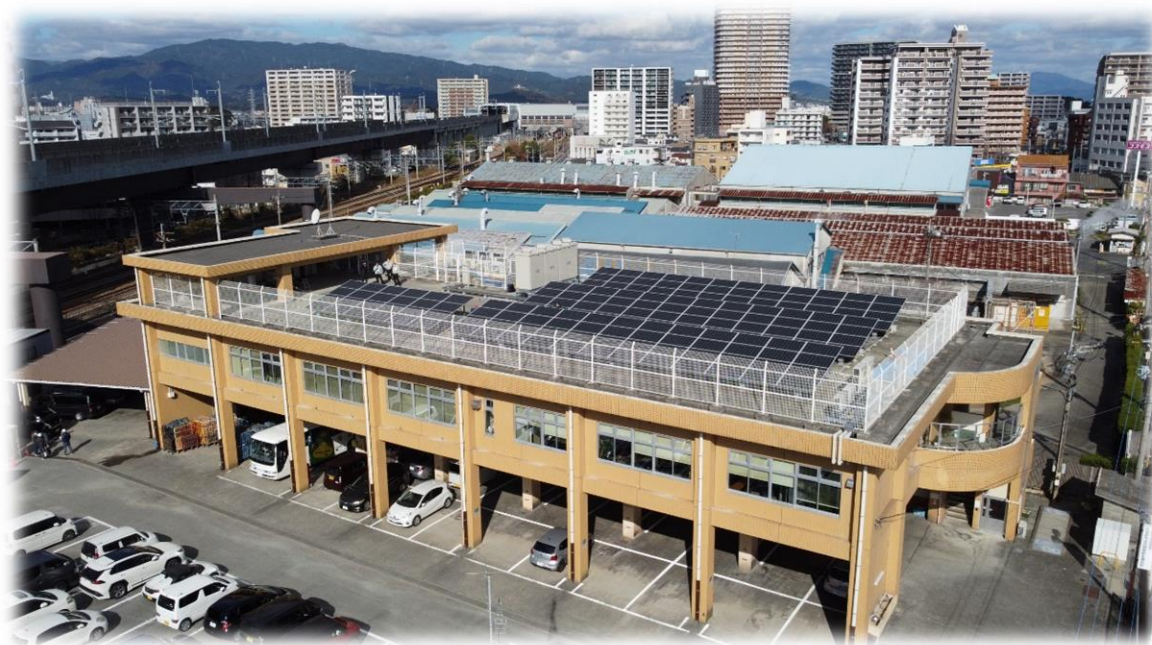
重点取組① 建築物脱炭素化の推進

重点取組② 時代の変化に強い地域産業の振興

## 4 - 重点取組（建築物脱炭素化の推進：概要）

### 重点取組① 建築物脱炭素化の推進

- エネルギー消費量が大きく、改善効果が見込まれる建物脱炭素化に重点化
- 久留米市の強み（ZEB化のノウハウ）の活用
- 事業ノウハウの蓄積やビジネスモデルの構築を通じた民間波及を期待



# 4 - 重点取組 (建築物脱炭素化の推進 : ロードマップ①)

			中間地点		ゴール
			2025 年度 (R7 年度)	2030 年度 (R12 年度)	2050 年
			取組の集中期間	変革の加速	脱炭素実現へのチャレンジ
公共部門	ZEH ZEB	目標水準	ZEB 施設を 累計 8 施設完成	2025 年以降の新築は 全て ZEH・ZEB 基準の水準確保 ※国の目標を <u>5 年前倒し</u>	2049 年までにストック平均で ZEH・ ZEB 基準の水準の省エネ性能を確保 ※国の目標を <u>1 年前倒し</u>
	率先行動	取組段階	<p>ZEH・ZEB と太陽光導入を率先して推進 【国の交付金を活用】【ノウハウの蓄積】【地元企業による施工による供給体制強化】</p> <p>ZEB 化工事・太陽光設置の先導的モデル (ZEB 改修や太陽光リース等) を民間部門へ展開</p> <p>公共部門の光熱費等削減分を民間支援へ還流させる仕組み構築</p> <p>再エネの「促進区域」設定について検討</p> <p>既存の系統線等を活用した再エネ利活用 (自己託送等) の推進</p> <p>再エネの地産地消システムの構築</p>		
民間部門	ZEH ZEB	目標水準	ZEB 施設を 累計 6 施設完成	2029 年以降の新築は 全て ZEH・ZEB 基準の水準確保 ※国の目標を <u>1 年前倒し</u>	2049 年までにストック平均で ZEH・ ZEB 基準の水準の省エネ性能を確保 ※国の目標を <u>1 年前倒し</u>
	波及促進	取組段階	<p>ZEH・ZEB 等のメリット、導入手法について積極的に情報公開 【住宅メーカー等との連携】【リース・PPA 等の事例紹介】【補助制度の紹介】</p> <p>法律に基づく省エネ基準への適合義務について制度の周知や取組の促進</p> <p>ZEH 導入や ZEB 相談への補助金交付</p> <p>再エネ等設備機器の共同購入支援</p> <p>公共部門の光熱費等削減分を財源に民間支援 (補助金) を拡大</p> <p>再エネの地産地消システムの構築</p>		

## 4 - 重点取組（建築物脱炭素化の推進：ロードマップ②）

### 重点取組① 建築物脱炭素化の推進



公共部門

ZEB施設を累計8施設完成

→ 2025年以降の新築は  
全てZEH・ZEB基準の水準確保

→ 2049年までにストック平均で  
ZEH・ZEB基準の水準確保

## 4 - 重点取組（建築物脱炭素化の推進：ロードマップ③）

### 重点取組① 建築物脱炭素化の推進



民間部門

ZEB施設を累計6施設完成

→ 2029年以降の新築は  
全てZEH・ZEB基準の水準確保

→ 2049年までにストック平均で  
ZEH・ZEB基準の水準確保



## 4 - 重点取組（建築物脱炭素化の推進：当面の取り組み）

### 重点取組① 建築物脱炭素化の推進

目標達成に向けた当面の取り組み

- ZEH・ZEBと太陽光導入を率先して推進
- ZEB化工事・太陽光設置の  
先導的モデル（ZEB化改修や太陽光リース等）の展開
- ZEH・ZEB等のメリット、導入手法の情報発信




## 4 - 重点取組（時代の変化に強い地域産業の振興：概要）

### 重点取組② 時代の変化に強い地域産業の振興

- CO<sub>2</sub>排出割合が高く、今後の削減余地の大きい事業者の取組促進に重点化
- GX等のビジネス環境変化への対応を通じた脱炭素成長型経済への移行
- 環境と調和した商工農業の持続的発展の確保



# 4 - 重点取組（時代の変化に強い地域産業の振興：ロードマップ①）

			中間地点			ゴール
			2025 年度 (R7 年度)	2030 年度 (R12 年度)	2050 年	
			取組の集中期間	変革の加速	脱炭素実現へのチャレンジ	
商工業	脱炭素経営推進	目標水準	自社の GHG 排出量を把握し、削減に向けた取組が開始	GX 成長産業への労働移動が円滑に進み環境と経済の好循環が生み出されていく	商工業における生産力向上や雇用拡大と脱炭素が同時に達成	
	行政の誘導・支援	取組段階	GX による競争力強化のための脱炭素経営への理解促進 【関連団体と連携したセミナー】【身近な事例紹介】【補助制度の紹介】			
			市内事業者による脱炭素経営関連認証取得の促進 → 独自認証や新協定制度的創設へ 金融機関と連携した ESG 投資の呼び込み → 環境関連企業の振興		脱炭素先進地としてプロモーションを行いビジネスチャンス拡大する	
			市独自の脱炭素経営への補助 【省エネ診断】【認証取得】【ZEB 相談】 → 脱炭素経営事業者へのインセンティブ設定 (補助金増額、入札条件等)			
			アドバイザー派遣等による相談の充実 公共部門の光熱費等削減分を財源とした GX への支援 (補助金) を推進			
農業	脱炭素経営推進	目標水準	脱炭素技術 (スマート農業、営農型太陽光発電等) 導入について、関係団体との協議が開始されている	脱炭素技術の導入が浸透し、GHG 削減と生産性向上を同時に達成する事例が波及	農業における生産性向上や雇用拡大と脱炭素が同時に達成	
	行政の誘導・支援	取組段階	生産者に対するセミナー等により、脱炭素経営の重要性や導入事例等を紹介 消費側に対し持続可能な農業の重要性 (エンカル消費の紹介など) への理解促進			
			営農型太陽光発電等の事例研究・関係者との意見交換 → 農業での創エネ促進 金融機関と連携した ESG 投資の呼び込み → 農業の脱炭素化を促進 ロボット、AI、IoT 等の先端技術を活用したスマート農業技術の研究		新技術の導入により、脱炭素と省力・高品質生産を同時に実現	
			アドバイザー派遣等による相談の充実 公共部門の光熱費等削減分を財源とした GX への支援 (補助金) を推進			

## 4 - 重点取組（時代の変化に強い地域産業の振興：ロードマップ②）

### 重点取組② 時代の変化に強い地域産業の振興



自社の温室効果ガス排出量を把握し、削減に向けた取組が開始

商  
工  
業

➡ GX成長産業への労働移動が円滑に進み  
環境と経済の好循環が生み出される

➡ 商工業における生産力向上や  
雇用拡大と脱炭素が同時に達成

## 4 - 重点取組（時代の変化に強い地域産業の振興：ロードマップ③）

### 重点取組② 時代の変化に強い地域産業の振興



脱炭素技術導入について、  
関係団体との協議が開始されている

農業

脱炭素技術導入が浸透し、温室効果ガス削減と生産性向上を同時達成する事例が波及

農業における生産性向上や雇用拡大と脱炭素が同時に達成

## 4 - 重点取組（時代の変化に強い地域産業の振興：当面の取り組み）

### 重点取組② 時代の変化に強い地域産業の振興

#### 目標達成に向けた当面の取り組み

##### （商工業）

- GXによる競争力強化のための脱炭素経営への理解促進
- 脱炭素経営への支援  
（省エネ診断、認証取得、ZEB相談）

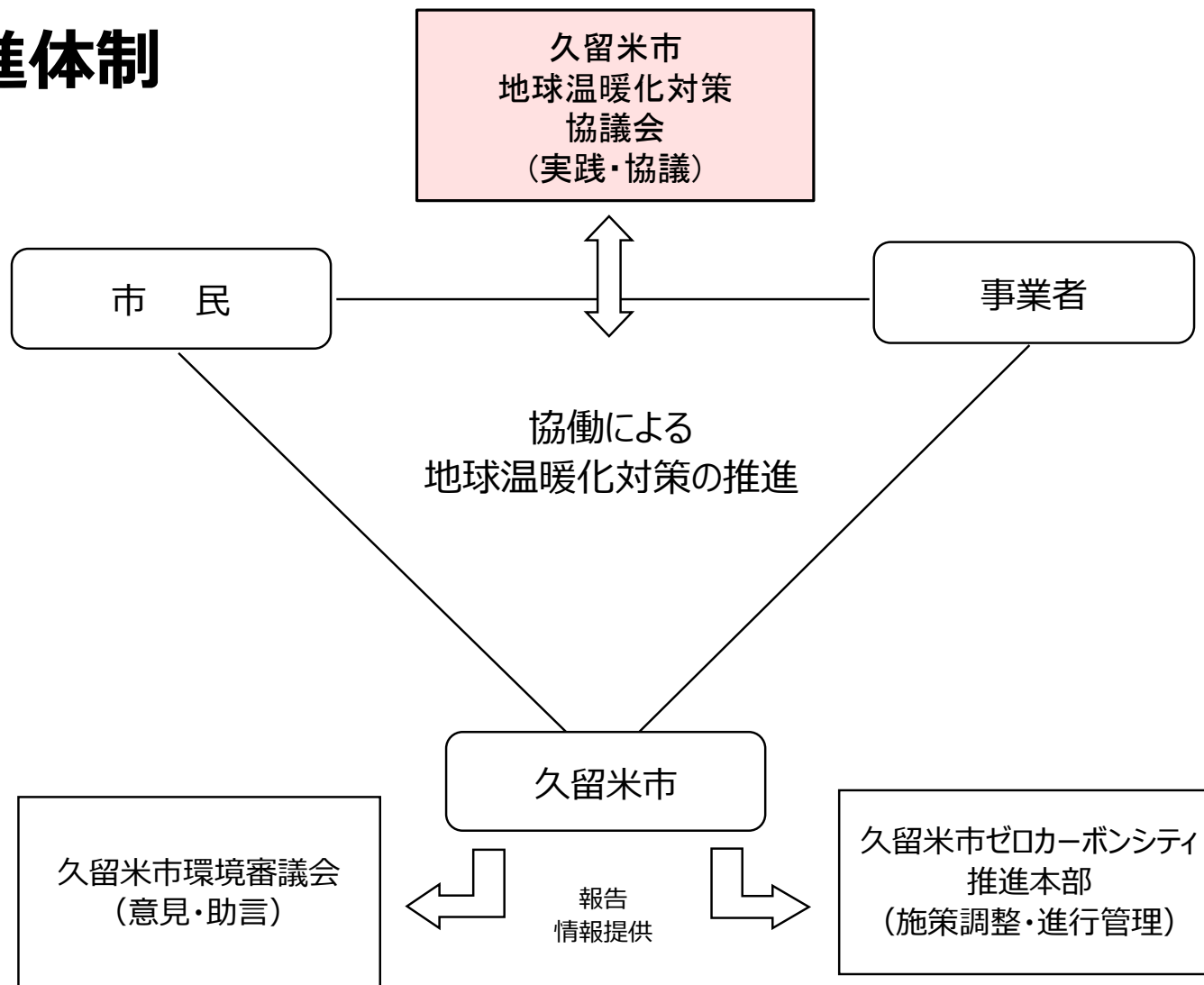
##### （農業）

- 生産者への脱炭素経営の重要性や導入事例等に関するセミナー
- 消費者への持続可能な農業の重要性への理解促進

1. これまでの経過
2. 計画の基本的事項
3. 温室効果ガス削減目標及び再エネ導入目標
4. めざす姿と目標達成に向けた施策
- 5. 計画の推進・進捗管理**

## 5 計画の推進・進捗管理（推進体制）

### (1) 推進体制





## 5 計画の推進・進捗管理（進捗管理）

### (2) 進捗管理

